

2011年度

科目名	文化財学課題研究(保存科学の研究)							
担当教員	内田 俊秀							
配当	文修1・文博1	コード	80033					
開期	集中通年	講時	集中0限	単位数				
授業テーマ	文化財の自然科学的研究と保存方法——その目的、技術と歴史——							
目的と概要	文化財の研究手法は、人文科学的なもの他に自然科学的なものもあります。近年、この自然科学的方法が多くの成果を上げています。また、貴重な文化財を残そうとする動きも、ユネスコなどを中心に世界各地で活発に行われており、それにも科学的方法は、威力を発揮しています。これらの紹介をとおして、研究や保存の意義を知ることを目標とします							
成績評価法	授業への参加度 20%、レポート 80%							
テキスト	なし。その都度コピーを配布。							
参考書	「文化財のための保存科学入門」京都造形芸術大学編 角川書店							
履修に当たっての注意・助言/準備学習	参考書に目を通しておくこと							
講義計画								
<p>&lt;前期&gt;</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 保存科学の歴史</li> <li>2) ヨーロッパの19世紀後半の活動</li> <li>3) 出土木製品の展示と保存概論</li> <li>4) 出土鉄製品の保存処理と概論</li> <li>5) 銅鐸の保存処理と概論</li> <li>6) 石造品の劣化について</li> <li>7) 産業遺産の保存と活用</li> <li>8) 遺跡の活用について</li> <li>9) 国内の美術工芸品保存活用概論 (1)</li> <li>10) 国内の美術工芸品保存活用概論 (2)</li> </ul> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 1) 文化財保存修復学会大会の研究発表事例について</li> <li>1 2) 文化財科学大会の研究発表事例について</li> <li>1 3) 材料研究の動向</li> <li>1 4) レポートの講評</li> <li>1 5) まとめ</li> </ul> </td> </tr> </table> <p>&lt;後期&gt;</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 夏休みの研究活動報告</li> <li>2) 鉄製品の作り方</li> <li>3) 銅製品の制作 (1)</li> <li>4) 銅製品の制作 (2)</li> <li>5) 銅製品の保存処理 (1)</li> <li>6) 銅製品の保存処理 (2)</li> <li>7) 出土木製品の構造</li> <li>8) 出土木製品の保存処理と課題</li> <li>9) 油彩画の保存と研究</li> <li>10) フレスコ画の修復 (1)</li> <li>11) フレスコ画の修復 (2)</li> </ul> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 2) 文化財防災(1)</li> <li>1 3) 文化財防災(2)</li> <li>1 4) レポートの講評</li> <li>1 5) まとめ</li> </ul> </td> </tr> </table>					<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 保存科学の歴史</li> <li>2) ヨーロッパの19世紀後半の活動</li> <li>3) 出土木製品の展示と保存概論</li> <li>4) 出土鉄製品の保存処理と概論</li> <li>5) 銅鐸の保存処理と概論</li> <li>6) 石造品の劣化について</li> <li>7) 産業遺産の保存と活用</li> <li>8) 遺跡の活用について</li> <li>9) 国内の美術工芸品保存活用概論 (1)</li> <li>10) 国内の美術工芸品保存活用概論 (2)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 1) 文化財保存修復学会大会の研究発表事例について</li> <li>1 2) 文化財科学大会の研究発表事例について</li> <li>1 3) 材料研究の動向</li> <li>1 4) レポートの講評</li> <li>1 5) まとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 夏休みの研究活動報告</li> <li>2) 鉄製品の作り方</li> <li>3) 銅製品の制作 (1)</li> <li>4) 銅製品の制作 (2)</li> <li>5) 銅製品の保存処理 (1)</li> <li>6) 銅製品の保存処理 (2)</li> <li>7) 出土木製品の構造</li> <li>8) 出土木製品の保存処理と課題</li> <li>9) 油彩画の保存と研究</li> <li>10) フレスコ画の修復 (1)</li> <li>11) フレスコ画の修復 (2)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 2) 文化財防災(1)</li> <li>1 3) 文化財防災(2)</li> <li>1 4) レポートの講評</li> <li>1 5) まとめ</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 保存科学の歴史</li> <li>2) ヨーロッパの19世紀後半の活動</li> <li>3) 出土木製品の展示と保存概論</li> <li>4) 出土鉄製品の保存処理と概論</li> <li>5) 銅鐸の保存処理と概論</li> <li>6) 石造品の劣化について</li> <li>7) 産業遺産の保存と活用</li> <li>8) 遺跡の活用について</li> <li>9) 国内の美術工芸品保存活用概論 (1)</li> <li>10) 国内の美術工芸品保存活用概論 (2)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 1) 文化財保存修復学会大会の研究発表事例について</li> <li>1 2) 文化財科学大会の研究発表事例について</li> <li>1 3) 材料研究の動向</li> <li>1 4) レポートの講評</li> <li>1 5) まとめ</li> </ul>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 夏休みの研究活動報告</li> <li>2) 鉄製品の作り方</li> <li>3) 銅製品の制作 (1)</li> <li>4) 銅製品の制作 (2)</li> <li>5) 銅製品の保存処理 (1)</li> <li>6) 銅製品の保存処理 (2)</li> <li>7) 出土木製品の構造</li> <li>8) 出土木製品の保存処理と課題</li> <li>9) 油彩画の保存と研究</li> <li>10) フレスコ画の修復 (1)</li> <li>11) フレスコ画の修復 (2)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 2) 文化財防災(1)</li> <li>1 3) 文化財防災(2)</li> <li>1 4) レポートの講評</li> <li>1 5) まとめ</li> </ul>							